

## 地域未来創生塾@中央公民館（全10回）

李 永 俊<sup>1</sup>

### 1. はじめに

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センターは、弘前市立中央公民館と連携して「地域未来創生塾@中央公民館」を開催した。「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全10回の講座が開かれた。本事業は、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策、地域の防災・減災などを模索するために、地域住民の皆さんと弘前大学人文社会科学部の教員及び学生が学び合う場を作ることを目的としている。

この事業を通して、地域の課題や地域の良さ、地域資源の潜在力を多角的な目線で理解し、地域住民と共有することは、地域課題の解決や新たな地域づくりにおいて大きな力となりうる。また、ワークショップに学生が参加し、市民の皆さんとコミュニケーションを取ることによって、若者が地域を理解し、地域の人材として育む教育の場としてもこの事業は重要な役割を果たしている。

### 2. 実施内容

本事業の具体的な実施内容は以下の通りである。

#### ○第1回「イスラーム留学生の弘前ぐらし①」2019年10月9日（水）

人文社会科学部 教授・杉山 祐子  
人文社会科学部准教授・白石壮一郎

第1回は、幅広い年齢層の市民の方々、19名の方が参加された。「イスラーム留学生の弘前ぐらし①」と題し、弘前大学で学ぶマレーシア人留学生3名の協力を得て実施した。イスラーム教についての基礎知識を概観したあと、食べ物やお祈りの場所の選び方などに焦点をあてながら、弘前のイスラーム留学生がどんなふうに暮らしているのかを紹介し、質疑応答を交えて理解を深めた。参加者から、「宗教・食生活など、知らなかったことを多く学べた。」「ハラール・ハラーム・シュブハの食についての話が参考になった。」「実際の弘前での暮らしを聞いて、参考になった。」といった、意見が出された。

#### ○第2回「イスラーム留学生の弘前ぐらし②」2019年10月23日（水）

人文社会科学部 教授・杉山 祐子  
人文社会科学部准教授・白石壮一郎

第2回は、幅広い年齢層の市民の方々、19名の方が参加された。「イスラーム留学生の弘前ぐらし②」と題し、参加された方々5～6人ずつのグループを作り、グループディスカッションを行った。ディスカッションのテーマは、「ハラール食」「ヒジャブ」「礼拝」の3つである。イスラーム留学生が日本の生

<sup>1</sup> 弘前大学人文社会科学部・教授

活の中で実際に直面した困りごとをとりあげた。具体的には、部活でお酌をするように言われる、アルバイトの面接でスカーフ（ヒジャブ）を外して働けるかどうか問われる、大学構内の空いている場所で礼拝しようとして止められる、などがあった。日本の生活に溶け込みたいけれどイスラームの教えに合わない、日本人に迷惑をかけないように気遣ったけれど受け入れられないといった具体的な出来事が示された。当事者であるイスラーム教徒の留学生や日本人それぞれの立場や気持ちを想像しながら出される率直な意見のやりとりによって、ディスカッションが盛り上がった。「文化だから」と突き放してしまわず、違いを受け入れて一緒に活動するための具体案が出されていたことが印象的である。参加者から、「ハラルについて、よく知らなかったが参考になった。」「グループディスカッションを通じて、自分の意見だけでなく、他の人たちの意見や考えもわかったから良かった。」「共生とはどういうことかを改めて考えることが出来たことが有意義だった。」といった、意見が出された。

### ○第3回「地域イノベーションの考え方」2019年11月13日（水）

人文社会科学部准教授・熊田 憲

第3回は、幅広い年齢層の市民の方々、23名が参加された。「地域イノベーションの考え方」と題し、はじめに、イノベーションという現象を解説したうえで、なぜ地域活性化にイノベーションが必要となるのかについて説明した。次に、地域活性化に向けた地域イノベーションはどのようなものなのかについて考察を行い、最後に、地域発イノベーションの成功事例を紹介した。参加者から、「イノベーションとは何かがよくわかった。イノベーションの大切さや、必要性がわかった。」「イノベーション＝IT企業というイメージを変えることができた。」「地域イノベーションを初めて知り、より深く大学で学びたいと思った。」といった、意見が出された。

### ○第4回「中東イスラーム世界から地域の特色を考える」2019年11月27日（水）

人文社会科学部講師・亀谷 学

第4回は、幅広い年齢層の市民の方々、5名が参加された。「中東イスラーム世界から地域の特色を考える」と題し、中東イスラーム世界の一般的な紹介を行った後、中東イスラーム世界の中にあるそれぞれの地域の間に見られる言葉や生活、建築などの面での違い・特徴についても紹介し、最後にそれらの地域と青森県とのつながりの事例を示した。また、学生の協力のもと、エジプト留学での生活についても解説した。参加者から、「語学が好きなので、新しくペルシャ語をやりたいと思えた。イスラーム世界の地域差を見られて良かった。」「モスクの内容が興味深かった。」「多文化についての意義ある話が聞けた。大変面白かった。」といった、意見が出された。



○第5回「農福連携って何だろう？－管理会計の理論から－」2019年12月11日(水)

人文社会科学部准教授・小杉雅俊、人文社会科学部教授・加藤恵吉

第5回は、幅広い年齢層の市民の方々、17名が参加された。「農福連携って何だろう？－管理会計の理論から－」と題し、農福連携と呼ばれる農業法人と社会福祉法人の取り組みについて紹介し、管理会計学の学問的な見地からその事例を深く考察した。当日は、現場での写真を豊富に紹介する形で、両者がどのようにお互いを助け合っているのかについて丁寧な説明が行われた。また、その取り組みが、現場でのマネジメント・コントロールとして効果的に昨日している点についても触れた。参加者から、「全体的に農業と経済のつながりなんて考えたこともなかったので、とても勉強になった。」「イメージしやすい説明などをしてくださったので、わかりやすかった。」「農福連携が事業として成り立っている事例がわかった」といった、意見が出された。

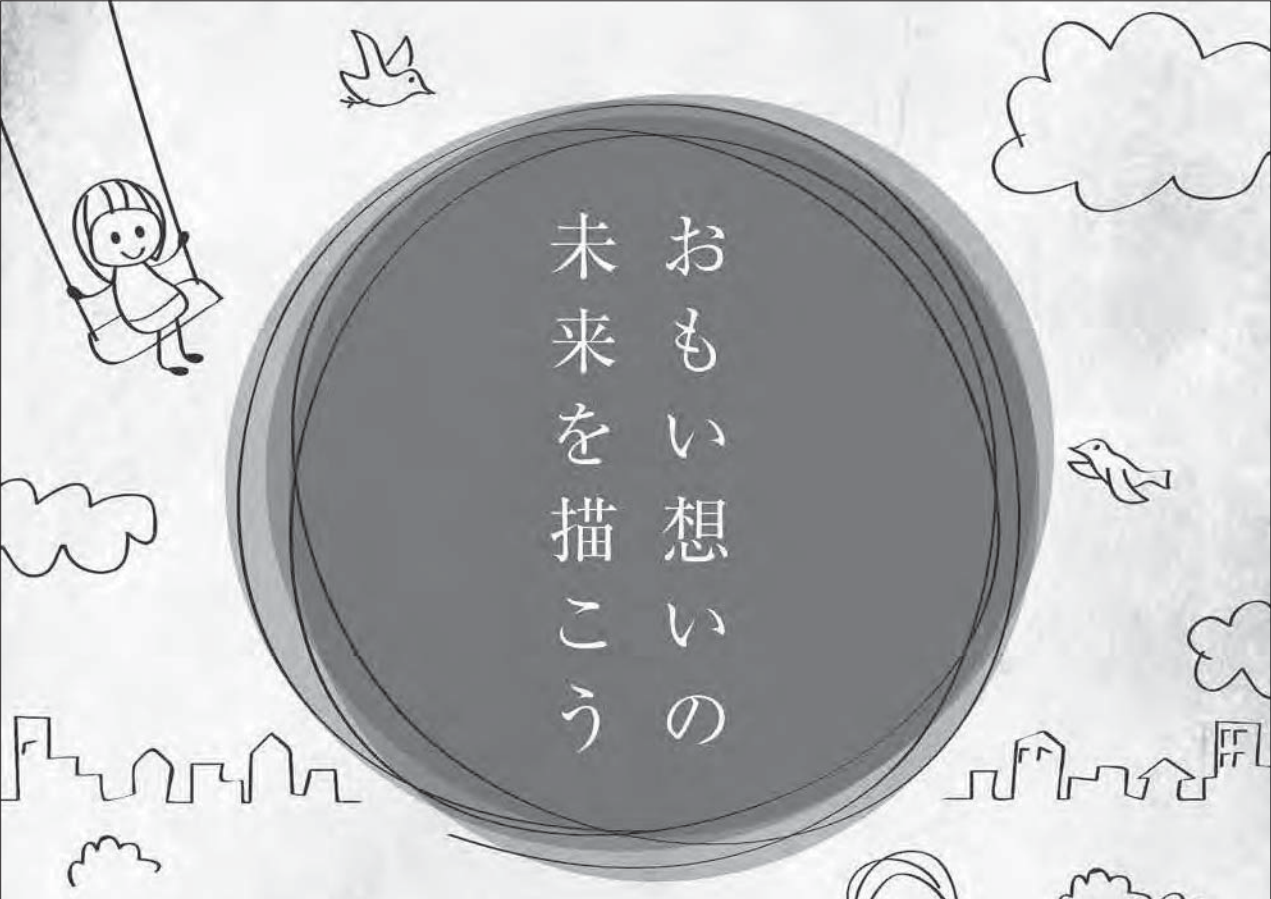
○第6回「統計データを活用しよう！統計調査の重要性」2019年12月25日(水)

人文社会科学部講師・花田真一

第6回は、幅広い年齢層の市民の方々、16名が参加された。「統計データを活用しよう！統計調査の重要性」と題し、公的統計の特徴や重要性について、統計調査における偏りの発生などにも触れながら説明した。そして、統計データを個人や民間で活用する際に助けとなる「政府統計の総合窓口」、「国土情報ウェブマッピングシステム」、「地域経済分析システム RESAS」などのウェブサイトの使い方を紹介した。参加者から、「国勢調査の重要性や活用できるサイトの紹介などが良かった。」「集計などの結果の調べ方なども紹介があったのでとてもわかりやすかった。また、調べてみようという気持ちが強くなったような気がする。」「統計のサイトをいくつか見ることができて楽しかった。入試で使う総合学習があるのでたくさん使いたい。」といった、意見が出された。

### 3. おわりに

今年度の講座では、人類学・社会学にはじまり、地域イノベーション、イスラーム史、管理会計・原価計算、計量経済学など、さまざまな分野の目線から、この地域の課題だけでなく、地域の潜在力や地域資源の可能性などを再発見する貴重な場となった。このように地域の現状を多角的な目線で理解し、地域住民の皆さんと共有することは、今後の地域づくりのために大変重要な取り組みとなりうる。このような事業を継続することを通して、より多くの市民や学生が地域の実情を再認識できる場を拡げていきたい。



おもい  
想いの  
未来を  
描こう

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター・弘前市立中央公民館  
弘前大学との地域づくり連携事業

# 地域未来創生塾 @中央公民館

日程:令和元年10月9日(水)から令和2年2月26日(水)  
の期間の第2および第4水曜日(全10回)

時間:18:30~20:00

場所:弘前文化センター第3会議室 ※第2回のみ視聴覚室  
(弘前市下白銀町19-4)

対象:弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方



参加  
無料  
お申込み不要

※全10回のうち6回ご参加の方には修了証を授与いたします。最新情報については、チラシ配布および地域未来創生センターホームページに掲載いたします。

主催:弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 共催:弘前市教育委員会(中央公民館) 後援:弘前市・東奥日報社・陸奥新報社

お問合せ

弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター ☎0172-39-3198(平日10:15~17:00)  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

# 「地域未来創生塾@中央公民館」

## 目的

「持続的で豊かな地域創造」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策・地域の防災・減災などを模索するために、地域のみならず弘前大学人文社会科学部の教員及び学生が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。



## 年間計画

第1回	令和元年10月 9日(水)	イスラーム留学生の弘前ぐらし①・②	講師:人文社会科学部教授 杉山 祐子/同学部准教授 白石 社一郎 専門:人類学・社会学 内容:私たちはイスラーム教について、どのくらい知っているでしょうか?弘前市でも外国からの移住者や留学生、観光客の数は年々増えています。文化や宗教のちがいを越えた交流の手がかりとするために、留学生との対話をまじえたワークショップ形式でイスラーム教のきまりや文化、イスラーム教徒からみた日本や弘前について考えます。
第3回	令和元年11月13日(水)	地域イノベーションの考え方	講師:人文社会科学部准教授 藤田 薫 専門:地域イノベーション、イノベーション 内容:イノベーションとは、誰でも知っている大企業が生まれます。これまでの常識を変えるような技術革新のことだと思いませんか。実は一般にはあまり知られていない「動かな」イノベーションが地域の企業からも数多く生み出されています。そのような地域イノベーションという現象と地域活性化との関係について考えてみます。
第4回	令和元年11月27日(水)	中東イスラーム世界から地域の特色を考える	講師:人文社会科学部講師 竜谷 学 専門:イスラーム史 内容:われわれとはまったく異なる文化のもとで暮らす中東イスラーム世界の人々。ともするとテロや紛争といった固定されたイメージで捉えがちですが、中東イスラーム世界にも地域によって多様性が存在します。それぞれの地域独自の生活文化を知ること、自分たちの地域の文化を知る手がかりを探してみます。
第5回	令和元年12月11日(水)	農福連携って何だろう? ~管理会計の理論から~	講師:人文社会科学部准教授 小杉 麗俊 専門:管理会計・原価計算 内容:農業法人と福祉団体の共同体構想による「農福連携」について、近年管理会計分野で議論が活発になっているマネジメント・コントロール・システムの理論を応用して考えてみましょう。事例の分析を深めていく過程で、管理会計理論の広がりや面白さや、その意外な一面について、同時に伝える講座にしたいと思っています。
第6回	令和元年12月25日(水)	統計データを活用しよう! 統計調査の重要性	講師:人文社会科学部講師 花田 真一 専門:計量経済学 内容:国や地方自治体が行っている統計調査には様々なものがあります。皆さんの中には、世帯の代表者や企業の担当者として、調査に協力したことがある方もいるでしょう。調査結果は公表され、誰でも利用することができます。統計調査を利用して、社会について考えてみましょう。
第7回	令和2年 1月 8日(水)	統計データで見るあおもりの「働く」	講師:青森県企画政策部統計分析課 副学事 工藤 正明 氏 内容:私たちがおもりの生活を支えている上で最近であり、また、大事な「働く」ということ。この回では、統計データを使って、おもりの「働く」がどのように変化してきているのか、皆さんと一緒に見ていきたいと思います。
第8回	令和2年 1月22日(水)	〈神〉と〈仏〉がコラボする信仰世界~図像学からのアプローチ~	講師:人文社会科学部准教授 原 克昭 専門:日本思想史・宗教文化史 内容:日本の信仰文化史を考えると、重要なキーワードとなるのが〈神仏習合〉という信仰形態です。日本人は〈神〉と〈仏〉をどのようにコラボレーションさせて、地域ごとの信仰文化圏を育んできたのでしょうか。各種図像や絵画資料とあわせて考えてみます。
第9回	令和2年 2月12日(水)	この日本語、ちょっと違って、どうしてわかるの? 習ってもいないのに!	講師:人文社会科学部教授 木村 直典 専門:英語学(生成文法理論) 内容:外国語とは違い、日本語(母国語)は知らないうちに使えるようになっていきます。幼い時、日本語を一生懸命勉強した記憶、ありますが、「ことば」の獲得の仕組みは、どうなっているのでしょうか。この問題を一緒に考えてみたいと思います。
第10回	令和2年 2月26日(水)	人口80万人時代の青森を生きる~経済学者からのメッセージ~	講師:人文社会科学部教授 李 永俊 専門:労働経済学 内容:人口80万人時代の青森、すなわち2040年代の青森の姿と一緒に考えてみませんか。人口80万人時代の青森を考え、その対応策を検討することは決して後ろ向きな作業ではありません。私たちの幸福を、今後私たちが置かれる状況の中で、私たち自身がつかみとってゆくための前向きな作業であります。青森県民が力強く豊かに前進してゆく手がかり、進めるべき提供したいと思えます。



お問い合わせ ▶ 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 TEL 0172-39-3198 (平日10:15~17:00)  
E-mail irrc@hirosaki-u.ac.jp URL http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

VI-1 地域未来創生塾@中央公民館 (全10回)